

通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の〔問い合わせ先〕へご連絡ください。

〔研究課題名〕

- ・下部消化管内視鏡検査における前処置に影響を与える因子について

〔研究機関〕

- ・東京都済生会中央病院・消化器内科

〔研究の目的〕

・下部消化管内視鏡検査施行の上で、前処置による腸管洗浄は肝要である。下部消化管内視鏡検査被検者の約10-25%で前処置不良との報告があり、前処置不良例は下剤常用者・便秘傾向・開腹手術既往に多いことが知られている。今回、前処置不良のリスク因子として腸管の器質的疾患・神経疾患・代謝疾患・薬剤などを挙げて調査を行った。

〔研究の方法〕

- ・対象となる患者さん

当院において2017年1月1日より12月31日までの1年間で、入院下で下部消化管内視鏡検査を施行した865症例のうち、前処置・禁食期間が同じ条件である512症例

- ・利用するカルテ情報

診療録（性別、年齢、治療歴）、下部消化管内視鏡の結果を閲覧し集積します。

研究期間：臨床研究倫理審査委員会承認日～2021年3月31日

データ取得期間：2017年1月1日～2017年12月31日

〔個人情報の取り扱い〕

・利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は以下の〔問い合わせ先〕にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

〔問い合わせ先〕

東京都港区三田1-4-17

東京都済生会中央病院・消化器内科 担当 中澤 敦

電話03-3451-8211（内線3521）